

SHARP®

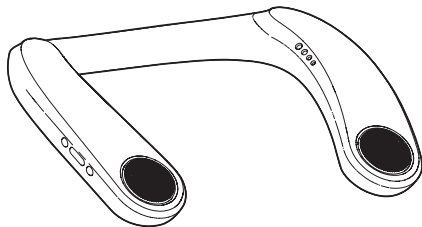
取扱説明書

サウンドパートナー

形名 **AN-SX7A**

 **Bluetooth®**

 **Qualcomm® aptX®
Low Latency**



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(→**3**ページ)を必ずお読みください。
- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。いつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 本書を受け取るときは、必ず保証書(裏表紙記載)に「ご購入日、販売店名」が記載されていることを確認してください。

もくじ







本書に掲載しているイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

安全上のご注意	3
同梱物	8
各部のなまえ	9
サウンドパートナー本体のランプ表示について	10
Bluetooth 送信機のランプ表示について	11
サウンドパートナー本体を充電する	12
Bluetooth 送信機とテレビを接続する	13
Bluetooth 送信機と接続する (ペアリング)	14
テレビの音声を聞く	15
Bluetooth 機器と接続する (ペアリング)	16
Bluetooth 機器と接続し音楽を聞く	17
おもな再生(視聴)操作について	18
通話のしかた (コール機能)	19
テレビ音声を聞きながら電話を受ける	20
音声案内を消したいとき	21
「故障かな?」と思ったら	22
おもな仕様について	23
商標	24
使用上のご注意	25
Bluetooth 無線技術について	26
Bluetooth 機器について	28
廃棄時のお願い	29
保証とアフターサービス	31
お客様相談窓口のご案内	32
無料修理規定	34
保証書	巻末

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	危険	人が死亡または重症を負う危険が切迫して生じるおそれがある内容を示しています。	
	警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	
	注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。	
図記号の意味 (図記号の一例です)	 気をつける必要があることを表しています。	
 してはいけないことを表しています。	 しなければならないことを表しています。

危険



禁止

サウンドパートナーを火の中に入れてたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしない

- 火災・感電の原因となります。



禁止

航空機内で使わない

- 電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

安全上のご注意 (つづき)



煙やにおい、音などの異常が発生したら、使用を中止する

禁止

- ・ 異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理を販売店にご依頼ください。お客様自身による修理は絶対におやめください。



湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス (H₂S、SO₂) が大気中に含まれる温泉地などには設置しない

禁止

- ・ 火災・感電の原因となることがあります。
- ・ 大気中に含まれる硫化ガス (H₂S、SO₂) に長期間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。



異常に温度が高くなるところには置かない

禁止

- ・ 特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。サウンドパートナーを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



内部に物や水などを入れない

禁止

- ・ サウンドパートナーの開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



車の中で操作しない

禁止

- ・ サウンドパートナーが落下したり、音声により緊急時の音声聞き取りにくいなど、運転の妨げになり、事故やケガの原因となることがあります。



台所／浴室や屋外など、本機に水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

禁止

- ・ サウンドパートナーは防水仕様ではありません。水などでめれた場合、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、湾岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警告



禁止

Bluetooth 機能は病院内で使用しない

- ・ 医療機器の誤作動の原因となることがあります。



禁止

Bluetooth 機能を使用するときは、心臓ペースメーカー等埋込み型医療機器の装着部位から 22cm 以上離して使用する

- ・ 電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

サウンドパートナーを破損したときは、使用を中止する

- ・ そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。



保管するときは、水、アルコール、ベンジンなどから離してください。可燃性物質との接触を避けてください

- ・ 外装ケースや内部部品が変質したり、劣化し、故障の原因となる場合があります。

注意



禁止

サウンドパートナー本体が直接肌に触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

- ・ そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



禁止

通電中のサウンドパートナー本体に長時間素肌を直接触れない

- ・ 長時間直接触れていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

安全上のご注意 (つづき)

注意



禁止

サウンドパートナーを落としたり、投げたり、強いショックを与えない

- ・ サウンドパートナーの破損、故障の原因となります。



禁止

サウンドパートナーの上に重いものを置かない

- ・ 外装ケースが変形したり、故障の原因となる場合があります。



禁止

大音量で長時間つづけて聴かない

- ・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聴くと、聴力障害を起こすことがあります。



禁止

はじめから音量を上げすぎない

- ・ 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



禁止

周囲の音が聴こえないと危険な場所では使用しない

- ・ 交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では安全に十分注意して下さい。交通事故の原因となります。



禁止

磁力の影響を受ける機器に近づけない

- ・ サウンドパートナーには磁性材料が含まれています。磁力の影響を受けやすい磁気カードや体内に埋め込まれている医療機器などへ近づけて使用しないでください。医療機器の影響については、医師にご相談ください。
- ・ アクセサリーや釘などの金属品が吸着することがあります。吸着している金属品などは、取り除くなどしてご使用ください。



長期間使用しないときも定期的に (6ヶ月に一度以上) 充電してください

- ・ 充電できなくなる場合があります。



警告

充電機についての安全上のご注意

- 本機ではリチウムイオン充電機を使用しています。
- 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



充電する時は、パソコンまたは USB 給電機の USB 端子に付属または市販のマイクロ USB (Micro-B) ケーブルを接続して使用する

指定の
ケーブルを
使用する

- 他の機器による充電は、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になることがあります。



雷が鳴り出したら、充電を中止し、USB ケーブルを外す

指示

- 火災・感電の原因となることがあります。



ぬれた手で USB ケーブルを抜き差ししない

ぬれ手禁止

- 感電の原因となることがあります。



充電機の液がもれたときは素手で触らない

指示

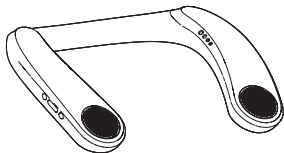
- 充電機の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

充電式電池について

- 充電機には寿命があります。保管方法、使用状況や環境により、充電機の容量が低下します。使用できる時間が極端に短くなった場合、当社の相談窓口にご相談ください。

同梱物

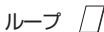
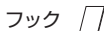
サウンドパートナー本体



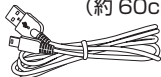
Bluetooth 送信機



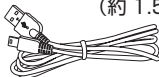
送信機固定用面ファスナーテープ



マイクロ USB 充電ケーブル
(約 60cm)



マイクロ USB 給電ケーブル
(約 1.5m)



光デジタル音声ケーブル
(約 1.5m)



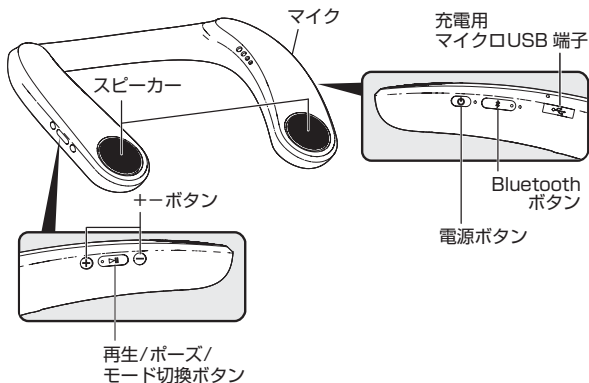
取扱説明書 (保証書付) 本書

※ Bluetooth 送信機用の AC アダプター、サウンドパートナー本体充電用の AC アダプター、オーディオケーブルは同梱物に含まれておりません。ご使用の際は市販品をご使用ください。
(詳しくは→ 12 ~ 13 ページ)

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manual in Japanese only.

各部のなまえ

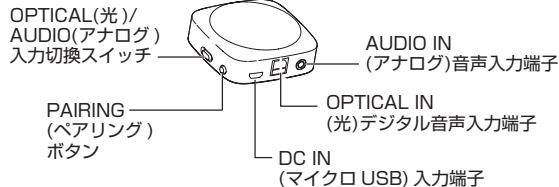
サウンドパートナー本体



お知らせ

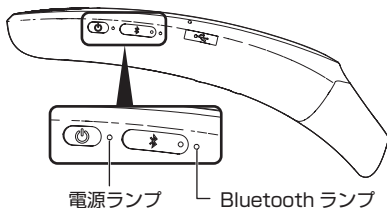
- スピーカーを裏返すなど、無理にまげないでください。
- スピーカーに物を巻きつけたりしないでください。
- 保管するときは、スピーカーが折れまがらないようにご注意ください。

Bluetooth 送信機



各部のなまえ (つづき)

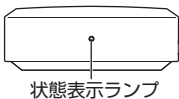
サウンドパートナー本体のランプ表示について



状態	電源ランプ (赤 / 緑 / 橙)
電源入	緑表示
電源切り	消灯
バッテリー状態表示	電源を入れたときは、バッテリー状態に応じて電源ランプが3回点滅しお知らせします。 ・ 緑 (約 70% 充電) ・ 橙 (70% ~ 20% 充電)
バッテリー残量警告	電源が入った状態でバッテリー残量が少なくなると電源ランプが約 1 秒に 1 回赤点滅表示しお知らせします。
充電中	約 1 秒間に 1 回橙点滅します。
満充電	消灯

状態	Bluetooth ランプ (青)
電源入	未接続状態：約 5 秒間に 2 回点滅します。
	接続状態：約 5 秒間に 1 回点滅します。
ペアリング	ペアリング中：約 1 秒間に 1 回点滅します。
	ペアリング完了：約 3 秒間点灯します。

Bluetooth 送信機のランプ表示について



状態	状態表示ランプ (青)
接続済み	約 5 秒に 1 回点滅します。
非接続	約 5 秒に 2 回点滅します。
給電無し	消灯
ペアリング中	約 1 秒間に 1 回点滅します。
ペアリング完了	約 3 秒間点灯します。

サウンドパートナー本体を充電する

- サウンドパートナー本体を充電するときは、付属または市販のマイクロ USB (Micro-B) 充電ケーブルをご使用ください。
- サウンドパートナー本体と USB AC アダプター (市販品)、またはパソコンを接続します。(USB AC アダプターは 5V・1A 以下の商品をご使用ください)

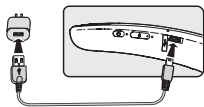
1 充電端子部カバーを開けてマイクロ USB 充電ケーブルを接続します。

- マイクロ USB 充電ケーブルを接続するときは、マイクロ USB (Micro-B) 端子の向きを確認し、まっすぐ差し込んでください。
- 充電完了後は充電端子カバーをしっかりと閉め、端子部に水や汗などが付着しないように気をつけてください。

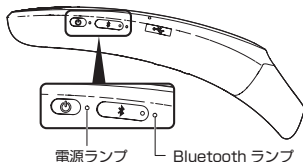
2 USB AC アダプター (市販品) またはパソコンの USB 端子部に接続します。

- 電源が「入」のときは電源が切れます。
- 充電中はサウンドパートナー本体を使用できません。

USB AC アダプター
(市販品) または
パソコン



充電中のランプ表示



電源ランプ

Bluetooth ランプ

電源ランプ	橙点滅	消灯
充電電池状態	充電中	満充電

お知らせ

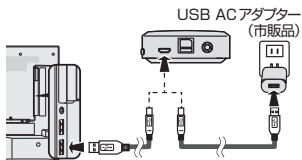
- 内蔵バッテリーの安全上、温度が低い状態では充電を止める機能が働きます。充電は室温が 5℃以上の環境で行ってください。
- 機能を維持するために半年に 1 度は充電することをお勧めします。

Bluetooth 送信機とテレビを接続する

- 付属の Bluetooth 送信機をテレビに取り付けるとサウンドパートナー本体でテレビの音声が楽しめます。

Bluetooth 送信機に電源を供給する

- 付属または市販のマイクロ USB (Micro-B) 給電ケーブルを使用し、Bluetooth 送信機側の DC IN (マイクロ USB 端子) と USB AC アダプター (市販品) または、テレビの USB 端子を接続します。



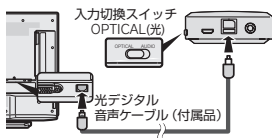
※ USB AC アダプター (市販品) を使用するときは、5V・1A 以下の商品をご使用ください。

※ テレビの USB 端子に接続したとき、音声中にノイズが出る場合は、USB AC アダプター (市販品) をご使用ください。

Bluetooth 送信機に音声ケーブルを接続する

- テレビの光デジタル出力端子またはヘッドホン端子と Bluetooth 送信機を音声ケーブルで接続します。音声ケーブルは端子の奥までしっかり挿入してください。
- 「入力切換」スイッチを、接続した音声ケーブルに合わせます。

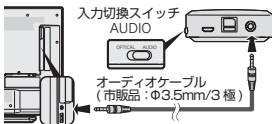
光デジタル音声ケーブルで接続する



テレビが光デジタル音声出力端子を持っている場合、付属または市販の光デジタル音声ケーブルを使用して Bluetooth 送信機と接続します。

光デジタル音声ケーブルの保護キャップは必ず取り外してください。

オーディオケーブルで接続する



テレビに光デジタル音声出力端子がない場合、市販のオーディオケーブル (Φ 3.5mm/3 極) をテレビのヘッドホン端子に接続します。

- テレビのスピーカーとサウンドパートナー本体の両方から音声を出力したいときはテレビの取扱説明書をご覧ください。テレビによっては、両方から音声が出力できない商品もあります。

Bluetooth 送信機と接続する（ペアリング）

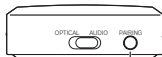
- 付属の Bluetooth 送信機をテレビに接続するとサウンドパートナー本体で音声を聞くことができます。

Bluetooth 送信機とペアリングする

1 Bluetooth 送信機をテレビなどに接続します（13 ページ）

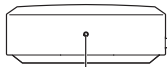
- 「入力切換」スイッチを、接続した音声ケーブルに合わせます。

2 Bluetooth 送信機の「PAIRING（ペアリング）」ボタンを約 2 秒間長押しします



PAIRING ボタン

- Bluetooth 送信機の状態表示ランプが青点滅します。



状態表示ランプ

3 サウンドパートナー本体の電源ボタンを約 2 秒間長押しし、電源を入れます

- ペアリングが完了すると接続機器の音声がスピーカーから聞こえます。
- 自動でペアリングができないときは、サウンドパートナー本体の「Bluetooth」ボタンを約 2 秒間押し続けてください。

お知らせ

- Bluetooth 送信機はサウンドパートナー本体（AN-SX7A）専用です。他の機器には接続できません。
- 付属の Bluetooth 送信機とサウンドパートナー本体の接続がうまくいかない場合には、送信機の「PAIRING」ボタンを約 10 秒間長押ししてリセットし、再度操作し直してください。

状態表示ランプ

状態	状態表示ランプ（青）
ペアリング中	約 1 秒間に 1 回点滅します。
ペアリング完了	約 3 秒間点灯します。
接続中	約 5 秒に 1 回点滅します。

テレビの音声を聞く

テレビの音声を聞く

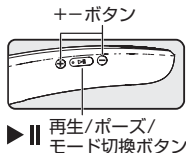
- 1 ペアリングされた Bluetooth 送信機をテレビに接続します
- 2 Bluetooth 送信機の入力切換スイッチを接続している音声ケーブルに合わせます
- 3 テレビの電源を入れ、サウンドパートナー本体の電源ボタンを約2秒間長押しし電源を入れます

- ・接続されるとテレビの音声がサウンドパートナー本体から聞こえてきます。
- ・接続されないときは、P14の操作に従って、再度接続を行ってください。

音量を調整する

音量の調整は「+」または「-」ボタンで行います。

- ・音量が最大になると音でお知らせします。
※音量は1回押しすと1段階変化します。
連続して早押ししたり、長押ししても音量は変わりません。ゆっくりした間隔で押してください。



本機でテレビ音声を聞いているときに音声をミュートする

「▶ ||」ボタンを押します

- ・押すたびに「音声ミュート」⇔「音声ミュート解除」となります。

ヒント

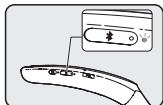
- ・ヘッドホン端子にオーディオケーブルを接続して音声を視聴しているときに、サウンドパートナー本体の音量を上げてもテレビの音声が小さく聞きづらいときは、テレビのヘッドホン音量を上げてください。
 - －テレビのスピーカーとサウンドパートナー本体の両方から音声を出したいときはテレビの取扱説明書をご覧ください。両方から音声が出せない商品もあります。
 - －音声ケーブルを接続した状態でテレビのスピーカーから音声が出力されない商品の場合、テレビのスピーカーで音声を聞くときは、オーディオケーブルをヘッドホン端子から抜いてご使用ください。
- ・サウンドパートナー本体は付属の Bluetooth 送信機 1 個に対して、2 台接続することができます。2 台目を接続したいときは、一度、1 台目のサウンドパートナー本体の電源を切ってから、Bluetooth 送信機の「PAIRING」ボタンを約 2 秒間長押しし、ペアリング状態にします。2 台目のサウンドパートナー本体の電源を入れ「Bluetooth」ボタンを約 2 秒間長押しします。2 台目のペアリングが完了したら、1 台目のサウンドパートナー本体の電源を入れてください。

Bluetooth 機器と接続する（ペアリング）

Bluetooth 機器を登録（ペアリング）する

1 サウンドパートナー本体の電源を入れたあと、「Bluetooth」ボタンを約2秒間長押しします

- ペアリングモードになり Bluetooth ランプが青点滅します。
- ペアリングできずに約5分が経過すると自動で電源が切れます。



2 Bluetooth 機器でサウンドパートナー本体と接続します

- Bluetooth 機器に表示される「検出した機器の一覧」に「AN-SX7A SHARP」と表示されますので接続します。（Bluetooth 機器の接続操作について詳しくは、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。）
- ペアリングが完了すると音声でお知らせします。



新たな Bluetooth 機器とペアリングするときは

1 サウンドパートナー本体の電源を入れたあと、「Bluetooth」ボタンを約2秒間長押ししてください

- ペアリングモードになりインジケーターが青点滅します。

2 Bluetooth 機器でサウンドパートナー本体と接続します

お知らせ

- サウンドパートナー本体は、最大8台までペアリング情報を登録できます。8台目以降の Bluetooth 機器とペアリングを行うと最初にペアリングを行った Bluetooth 機器の情報が削除されます。ペアリング情報が削除された機器で再度音声を聞く場合は、ペアリングをやり直してください。
- 一度ペアリングした機器が接続できないときは、再度ペアリング操作を行ってください。
- ペアリングした複数の機器が Bluetooth 接続状態のときは、最後にペアリングした機器が接続されます。それ以外の機器と接続したいときは、接続機器以外の Bluetooth 接続を解除してください。
- Bluetooth 機器のセキュリティー機能により、機器によってはペアリングできない場合があります。

Bluetooth 機器と接続し音楽を聞く

Bluetooth 機器と接続するとき、下記についてご確認ください。

- 接続する機器の Bluetooth 機能が ON になっている。
- サウンドパートナー本体とペアリングが完了している。
- サウンドパートナー本体より 10m 以内の場所で操作している。

Bluetooth 機器を接続する

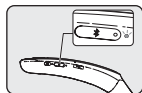
1 サウンドパートナー本体の電源を入れたあと、「Bluetooth」ボタンを約 2 秒間長押しします

- 接続モードになり Bluetooth ランプが青色で点滅します。



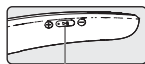
2 接続が完了

- 接続が完了すると Bluetooth ランプが約 5 秒に 1 回点滅します。



3 再生する

Bluetooth 機器と接続したときは「▶ ||」ボタンを押します。



▶ || 再生/ポーズ/
モード切換ボタン

音量を調整したり曲を頭出しする

音量の調整や曲の頭出しなどの操作は「+」または「-」ボタンで行います。

「+」または「-」ボタンを押すと音量が調整できます。

- 音量が最大になると音でお知らせします。
※音量は 1 回押すと 1 段階変化します。
連続して早押ししたり、長押ししても音量は変わりません。ゆっくりした間隔で押してください。
- 音量を最大にしても音量が小さいときは、機器側の音量を上げて調整してください。

曲の頭出しは「+」または「-」ボタンを約 2 秒間長押しします。

- 「-」ボタンを約 2 秒間長押しすると、次の曲を頭出しします。
- 「+」ボタンを約 2 秒間長押しすると、前の曲を頭出しします。

おもな再生（視聴）操作について

機能	操作ボタン
テレビ音声を消音する Bluetooth 機器で 再生 / 一時停止する	「▶ 」 ボタンを押します。
音量を調整する	「+」または「-」 ボタンを押します。 • 音量調整はテレビ音声を聞いているときや、Bluetooth 機器の再生時に行えます。
Bluetooth 機器の再生 で前の曲を頭出しする	「+」 ボタンを約 2 秒間長押しします。
Bluetooth 機器の再生 で次の曲を頭出しする	「-」 ボタンを約 2 秒間長押しします。
サウンドモードを切り 換える	「-」 と 「▶ 」 ボタンを同時に約 2 秒間長押しします。 長押しするたびに「モード 1」⇒「モード 2」⇒「モード 3」 ⇒「モード 1」に切り換わります。 モード1：標準の再生モードです。 モード2：映画や音楽などを聞くときに適したモードです。 モード3：人物の声やニュースなどを聞くときに適したモード です。 • サウンドモードの切り換えは、テレビ音声を聞いている ときや、Bluetooth 機器の再生時に行えます。 • サウンドモードを切り換えると、操作音が鳴り、電源ラ ンプが点滅します。
Bluetooth 機器の音声 コントロール※を有 効にする	「Bluetooth」 ボタンを押します。 モバイル機器の音声コントロール機能にアクセスして、 通話したり、音楽を再生したり、天気を探ねたり、スポー ツのスコアを調べたりすることなどができます。 • モバイル機器が対応していないときはこの機能は働き ません。

※音声コントロール機能は、Google アシスタント / Siri に対応しています。そ
れ以外のアプリケーションには対応していません。

お知らせ

- Bluetooth 機器によっては再生操作が制限されるなど、上記の操作ができない場合があります。

通話のしかた（コール機能）

スマートフォンなどモバイル機器と Bluetooth 接続されているときに、電話を受けることができます。

電話を受ける・切る

- ・着信を受けたら「▶ ||」ボタンを押します。
- ・通話を終了するときは「▶ ||」ボタンを約 2 秒間長押しします。

おもなコール操作について

機能	操作ボタン
着信応答	「▶ 」ボタンを押します。
通話終了	「▶ 」ボタンを約 2 秒間長押しします。
スマートフォンに音声を切り換える	「+」ボタンを約 2 秒間長押しします。 ・再度「+」ボタンを約 2 秒間長押しすると、本機に音声切り換わります。
通話をミュートにする	「-」ボタンを約 2 秒間長押しします。
通話ミュートを解除する	「-」ボタンを約 2 秒間長押しします。
着信コールを拒否する	「▶ 」ボタンを約 2 秒間長押しします。

お知らせ

- ・スマートフォンなどモバイル機器が対応していないコール機能は働きません。

テレビ音声を聞きながら電話を受ける

サウンドパートナー本体はテレビとスマートフォンなどのモバイル機器を同時に接続することができます。

テレビとスマートフォンなどモバイル機器と同時接続しているときは、テレビ音声を聞きながら、電話を受けることができます。

電話を受ける・切る

- ・着信を受けたら「▶ ||」ボタンを押します。
- ・通話を終了するときは「▶ ||」ボタンを約2秒間長押しします。

おもなコール操作について

機能	操作ボタン
着信応答	「▶ 」ボタンを押します。
通話終了	「▶ 」ボタンを約2秒間長押しします。
スマートフォンに音声を切り換える	「+」ボタンを約2秒間長押しします。
通話をミュートにする	「-」ボタンを約2秒間長押しします。
通話ミュートを解除する	「-」ボタンを約2秒間長押しします。
着信コールを拒否する	「▶ 」ボタンを約2秒間長押しします。

お知らせ

- ・スマートフォンなどモバイル機器が対応していないコール機能は働きません。

テレビとスマートフォンなどモバイル機器を切り換える

- ・スマートフォン内の音楽を聞いたり、テレビの音声を聞いたり切り換えることができます。
- ・Bluetooth 送信機（テレビ）とモバイル機器を2台同時接続している場合のみ、機器を切り換えることができます。
- ・「▶ ||」ボタンを約2秒間長押しします。長押しするたびに「テレビ⇄モバイル機器」が切り換わります。

音声案内を消したいとき

サウンドパートナー本体は、操作に合わせて音声案内を行いません。音声案内を消したいときはつぎの操作で設定を切り換えます。本体の電源が切れているときにつぎの操作を行うと、音声案内が切り換わった状態で、電源が入ります。

機能	操作ボタン
音声案内を切る	「電源」ボタンと「-」ボタンを同時に約2秒間長押しします。
音声案内を入れる	「電源」ボタンと「+」ボタンを同時に約2秒間長押しします。

おもな音声案内について

機能	音声案内入り	音声案内切り
電源入り	「POWER ON」 (パワーオン)	操作音「タラリラ」
電源切り	「POWER OFF」 (パワーオフ)	操作音「タラリラ」
バッテリー状態 (約70%充電)	「BATTERY HIGH」 (バッテリーハイ)	無音
バッテリー残量警告	「BATTERY LOW」 (バッテリーロー)	無音
接続済み	「Connected」 (コネクティド)	操作音「ピ」
接続機器見つからない (未接続)	「Pairing」 (ペアリング)	無音
ペアリング完了	「Paired」 (ペアード)	操作音「ピ」
音量最大	操作音「ポー」	操作音「ポー」
サウンドモード モード1 モード2 モード3 切換	「ポ」 「ポポ」 「ポポポ」	「ポ」 「ポポ」 「ポポポ」
マイクミュート	「Mute ON」 (ミュートオン)	操作音「ププ」
マイクミュート解除	「Mute Off」 (ミュートオフ)	操作音「ポポ」

「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなときに	ここをお確かめください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音量が小さい場合は、本機または接続機器の音量を上げてください。音声ケーブルは奥まで確実に挿入されていますか。入力切換スイッチは正しく切り換えていますか。Bluetooth 機器の音量が「0」になっていませんか。接続機器の電源は入っていますか。接続機器が本機と正しく接続されていますか。別の Bluetooth 機器をペアリングして、使用したい機器のペアリング情報が削除されていませんか。ペアリングをやり直してください。2台同時接続している場合など、別の Bluetooth 機器の音声を出力する設定になっていませんか。「▶ 」ボタンを約2秒間長押しして、機器を切り換えてください。本機と Bluetooth 機器との距離が遠すぎませんか。接続機器の Bluetooth 設定が「切」になっていませんか。
スピーカーの片側からしか音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音声ケーブルが正しく挿入されていない可能性があります。Bluetooth 送信機およびテレビの端子にケーブルのプラグを奥まで挿入して下さい。オーディオケーブルはφ 3.5 mm / 3極タイプを使用していますか。
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	<ul style="list-style-type: none">本機の電源を一度切って再度電源を入れ直してください。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">充電が少なくなっている可能性があります。付属または市販のマイクロ USB ケーブルを使用して充電を行ってください。充電しても電源が入らない、または直ぐに電源が切れてしまうときは充電電池の消耗が考えられます。
音が途切れたり、歪む	<ul style="list-style-type: none">本機の近くでラジオ受信機やトランシーバー、防災無線機などの無線機器を使用していませんか。本機と Bluetooth 機器との間に障害物がありませんか。音が歪む場合は、音量が上がりにすぎいませんか。音量を下げてください。付属の送信機とスマートフォン等の Bluetooth 機器を同時に接続してお使いの場合、スマートフォン等の操作をするなど操作をしていませんか。内部処理を行うため、音声が途切れたり、歪みが出たりする場合があります。スマートフォン等の Bluetooth 機器の接続を「解除」して、付属の Bluetooth 送信機のみでの接続状態にしてから、サウンドパートナー本体の電源を入れ直してください。

おもな仕様について

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

品名	サウンドパートナー
形名	AN-SX7A
音楽再生時間	約 13 時間 30 分 ※ 1
充電電池充電時間	約 5 時間 ※ 1
寸法	227mm (幅) × 181mm (奥行) × 46mm (高さ)
質量	約 280g
端子	マイクロ USB (Micro-B) 端子 (充電用)
使用周波数帯域	2.402GHz - 2.480GHz
通信方式	Bluetooth 5.0 (HSP / HFP / A2DP / AVRCP)
到達距離	直線見通し約 10m
著作権保護	SCMS-T
対応コーデック	SBC / AAC / Qualcomm aptX / Qualcomm aptX Low Latency
実用最大出力	2.4W (1.2 W + 1.2 W) (10% T.H.D) (JEITA ※ 2)
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃

※ 1 周囲の温度や使用される状態により、時間が異なる場合があります。

※ 2 実用最大出力は、JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

品名	Bluetooth 送信機
寸法	60mm (幅) × 60mm (奥行) × 22mm (高さ)
質量	約 40g
端子	マイクロ USB (Micro-B) 端子 (電源用)、光デジタル音声入力端子、アナログ音声入力端子 (3 極 φ 3.5mm)
使用周波数帯域	2.402GHz - 2.480GHz
通信方式	Bluetooth 5.0 (A2DP)
到達距離	直線見通し約 10m
対応コーデック	SBC / Qualcomm aptX / Qualcomm aptX Low Latency
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃
同時接続数	Bluetooth 送信機 1 台につきサウンドパートナー 2 台まで ※ 3

※ 3 2 台同時接続の場合、Qualcomm aptX Low Latency には対応していません。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

商標

- Qualcomm aptX and Qualcomm cVc are products of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
- Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
- aptX and cVc are trademarks of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、シャープはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では[®]、[™] マークは明記していません。
- Google は Google LLC の商標です。
- Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

使用上のご注意

お手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。化学雑巾（シートタイプのウェット・ドライのものも含め）をご使用になれますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 汚れがひどいとき、大量の汗などで湿ったときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。

ご注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。



- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談窓口まで、ご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth 無線技術について

Bluetooth 無線技術は、パソコンや携帯電話などのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ 10m 程度までの距離で通信を行うことができます。

必要に応じて 2 つの機器をつなげて使うのが一般的な使いかたですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によって USB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth 標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth 機能のプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

対応 Bluetooth プロファイル：

- － A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) :
高音質なステレオ音声を伝送するためのプロファイルです。
- － AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) :
音量の大小、再生の操作をするためのプロファイルです。
- － HFP (Hands-Free Profile) :
ハンズフリーで通話するためのプロファイルです。
- － HSP (Head Set Profile) :
ヘッドセット / 携帯電話と通信するためのプロファイルです。

ご注意

- Bluetooth 機能を使うには、相手側 Bluetooth 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

通信有効範囲

見通し距離で約 10m 以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなる場合があります。

- － Bluetooth 接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- － 無線 LAN が構築されている場所
- － 電子レンジを使用中の周辺
- － その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

Bluetooth 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- － 本機と Bluetooth 機器を接続するときは、無線 LAN から 10 m 以上離れたところで行う。
- － 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- － 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- － 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- ・ 本機は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。
- ・ Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- ・ 本機と接続する Bluetooth 機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- ・ Bluetooth の接続が完了する前に本機、または Bluetooth 機器の電源を切るとペアリングが完了せず、ペアリングに関する情報は記憶されません。はじめからペアリングをやり直してください。
- ・ 本機は、最大 8 台までペアリング情報を登録できます。新たな機器とペアリングを行うと最初にペアリングを行った機器の情報が削除されます。ペアリング情報が削除された機器で再度音声を聞く場合は、ペアリングをやり直してください。

Bluetooth 機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2.402 GHz から 2.480 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様相談窓口までお問い合わせください。



この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

廃棄時のお願い

充電式電池のリサイクルご協力をお願い

充電式電池はリチウムイオン充電電池を使用しています。

この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては、各自治体の廃棄ルールに従ってください。

ご不明な点については弊社お客様ご相談窓口までご相談ください。



リチウムイオン
充電電池のリサイクル
マークです。

Li-ion00

絶対に分解しないでください

保証とアフターサービス

保証書（巻末）

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
お買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等や、出張修理を行なった場合の出張料は、保証期間内、保証期間外にかかわらずお客様のご負担となります。

使い方や修理のご相談など

- 修理や廃棄に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談室にお問い合わせください。（→ **32** ページ）

修理を依頼される時は【持込修理】

- 「故障かな？と思ったら」（→ **22** ページ）を調べてください。
- SHARP オンラインサポートページの「Q&A よくあるご質問」や「故障診断ナビ」でも確認できます。

SHARP オンラインサポート：
<https://jp.sharp/support/>

- それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 修理のご依頼は、保証書（本書）を添えてお買いあげの販売店にご持参ください。

お客様相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にアクセスしてください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。



いつでも便利なWebサービス [シャープ オンラインサポート]

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

オンラインサポート トップページ

<https://jp.sharp/support/>

シャープ お問い合わせ 検索

スマートフォンからでも
ご利用いただけます。



インターネットから修理のお申し込み

<https://jp.sharp/support/repair.html>

シャープ 修理相談 検索

スマートフォンからでも
ご利用いただけます。



■QRコードについて

スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。（読み取れない場合はアドレスを直接入力してください）

■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意（QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

●当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。

●スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。

アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。

●当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

■ 製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内
(電話オペレーターにはつながりません)

自動音声案内 フリーダイヤル (携帯電話からもご利用いただけます) ☎0120-001-252

■ ご贈答品などでお買いあげの販売店がわからないときは

※当社では、確実なおお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のおお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

お客様相談室

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル 携帯電話からは、ナビダイヤル

☎0120-001-251

☎0570-550-113

■ フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050-3852-5122	06-6792-5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

受付時間

●月曜～土曜:9:00-18:00 ●日曜・祝日:9:00-17:00 (年末年始を除く)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。

個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の開示・訂正、利用訂正等の請求その他お問い合わせは、シャープ株式会社個人情報ご相談窓口にご連絡ください。

電話番号：06-6792-8004

(受付時間：平日、9:00～12:00、13:00～17:00)

個人情報の取扱いの詳細については、

<https://jp.sharp/privacy/index-j.html> をご参照ください。

無料修理規定

持込修理

保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参のうえ、お買いあげの販売店にご依頼し本書をご提示ください。

本書は、記載内容の範囲で無料修理または製品交換させていただくことをお約束するものです。

お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。

ご転居、ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈 無 料 修 理 規 定 〉

1. 取扱説明書などの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書に従い無料修理または製品交換いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造など、取扱説明書やそれに類する書面にて弊社が禁止している事項に抵触したことで発生した故障・損傷。
 - (ニ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
 - (ホ) 火災・公害・および地震・落雷・突風・風水害・塩害・ガス害（硫化ガス等）その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
 - (ヘ) 一般家庭用以外（例えば業務用に使用、車両船舶に搭載）に使用された場合の故障・損傷。
 - (ト) 消耗部品（リチウムイオン充電電池）の自然消耗、摩耗、劣化等により部品の交換が必要な場合。
 - (チ) 電池の液漏れによる故障・損傷。
 - (リ) 持込修理の対象製品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様負担となります。
 - (ヌ) お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合（例：ホコリ、錆、カビ、小動物の侵入・糞尿・損傷）

-
3. 製品の保証期間内であっても、弊社が別途定める当該製品の製造打ち切り後の補修用性能部品保有期間が満了し、かつ部品が手配できない場合は修理をお引き受けできないことがあります。
 4. 製品の状態やその他の事項により、修理に代えて製品交換で対応する場合がありますのでご了承ください。
 5. 環境への配慮や修理料金低減のため、修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理後、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理致します。
 6. 本書に基づき無料修理（製品交換を含む対応）を行った製品の保証期間は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
 7. お買いあげの製品が故障により使用出来なかったことによる損害については補償致しません。
 8. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ★ 本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

製品登録の
お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用
いただくために、シャープの会員サービス
〈COCORO MEMBERS〉でご愛用製品の登録
をお願いいたします。(登録無料)



<https://cocoromembers.jp.sharp>

スマートフォン
はこちらから

